



臨床糖尿病支援ネットワーク MANO a MANO



“mano a mano” とはスペイン語で“手から手へ”という意味です

糖尿病患者“会”の高齢化

[当法人評議員]
公立昭和病院

重田 真幸 [医師]

先日、当院の糖尿病友の会である「昭和友の会」の総会が行われました。糖尿病の患者さんたちとうな重を頼張りながら、ここ最近の糖尿病関連の話題や世間話など様々なお話しをしてきました。話題では、ここ数年変わらず「患者会の高齢化」が議題にあがります。高齢糖尿病患者さんの治療にあたっては、医学的議論だけでは処理できない様々な問題解決が必要になってきているのは周知のとおりですが、この糖尿病に絡む高齢化問題は患者さんの組織である「友の会活動」にも及んでいるのだと肌で実感します。当院の糖尿病友の会の会員数は、ここ5年間で84人から64人と急速に縮小しており、退会される主な要因は概して「高齢となり積極的な参加が困難」といった理由があります。「さかえ」の購読のみ続けてきた方でも同様の理由で退会される方もいらっしゃいます。

当会は患者さんの自主運営による友の会のため機関紙の発行・さかえの発送など運営事務もすべて患者さん同士で行われています。現在担当をされている方も70歳代の患者さんですが、積極的な若い世代が現れない患者会の中では永遠の「若手ホープ」となっており、その負担から会の発展的解散も議題にあがるがありました。日本の少子化対策同様に、このまま座していれば消滅してしまうことは明らかであり、新陳代謝が衰弱していかないように解決策を皆で模索しているところです。一患者会の問題ではありますが、この問題は程度の差はあれ当院だけの問題とは思えず、このまま進めば全国組織の屋台骨もゆらぐ可能性さえあります。院内でも次の世代となる患者さんに入会を薦めてはいるのですが、比較的安定した病状を保ちながら病院をかかりつけ医療機関として多くの患者さんが通院されていた時代とは違い、友の会活動に参加する時間的余裕も経済的余裕も、なにより病気そのものによる身体的余裕も無い患者さんの割合が当院でも確実に増えており、入会者も年1～3名と毎年減少するばかりです。

一時代前までは糖尿病に関する正確な情報を得る手段がなかなか無い状況のなか「さかえ」は患者さんにとって信頼できる重要な情報源であり友の会に入会する大きな利点の一つでしたが、最近では、液晶画面に指を滑らせれば真偽はともかく大量の情報が手に入る時代であり、若い方には以前ほどの魅力が無いのかもしれませんが。特に若い1型糖尿病患者さんでは、インターネットを通じて友の会とは別に活発に情報交換している方もおられます。

高齢の会員患者さん方も、この問題のテコ入れのために知恵を絞りながら機関紙を新たに刷新されるなど頑張っており、この取り組みを評価していただき昨年は東京都糖尿病協会から団体賞を頂きました。効果も少しずつ出ているようで、久しぶりに若い患者さんが何人か入会してくれました。医療スタッフも自主性を尊重しつつ可能なサポートを行いながら無理のないように再活性化していきたいと思っています。

読んで
単位を
獲得しよう

西東京糖尿病療養指導士(LCDE)は、更新のために5年間に於いて50単位を取得する必要があります。本法人会員は、会報「MANO a MANO」の本問題及び解答を読解された事を自己研修と見做し、**1年につき2単位**(5年間で10単位)を獲得できます。毎月、自分の知識を見直し、日々の療養指導にお役立てください。
(「問題」は、過去のLCDE認定試験に出題されたものより選出、一部改変しております。)

問題 糖尿病患者の歯周病について誤っているのはどれか、1つ選べ。(答えは3ページにあります。)

1. 糖尿病患者は歯周病が重症化しやすい
2. 糖尿病患者の唾液分泌量減少が歯周病の誘因となる
3. 歯周病は動脈硬化の誘因となる
4. 抜歯前には抗菌薬投与が必要である
5. 歯周病改善にて血糖コントロールが改善することがある





第60回日本糖尿病学会年次学術集会

平成29年5月18日(木)～20日(金)

名古屋国際会議場

【本法人会員】

熊倉医院

レポート1

熊倉 淳 [医師]

2017年5月18日～21日まで名古屋市で開催された第60回日本糖尿病学会年次学術集会に参加しました。教育講演を中心に聴講し、興味のあった話を報告します。

琉球大学の益崎裕章先生の発表で、体重が増えると運動をしなくなるメカニズムにレプチンが関与しているとのことでした。動物はお腹がすくと食物をとるために活動しなくてはならなくなりますが、それは脂肪細胞が減りレプチンが減ってくることが一因であり、お腹が一杯になり太ってくると脂肪細胞が増え、レプチンが増えることが運動しなくなることの一因である。神経性食思不振症で痩せている人たちの活動性がすごく高いこともレプチンの影響と考えられることを聞き、経験的にも納得しました。順天堂大学の田村好史先生の発表では、サルコペニアは高齢者だけのものではなく、痩せた若年者にも存在して、若年性サルコペニア略して“若サルコ”として予防・介入をしなければいけないとのことでした。福岡大学の柳瀬敏彦先生の二次性糖尿病の発表で、慢性膵炎に伴う痩せた糖尿病では膵外分泌の低下を考慮し、必要あれば消化剤の追加を忘れないことを聞き、実臨床での症例を思い出しました。国立がん研究センター中央病院総合内科の大橋健先生の糖尿病とがんの発表で、免疫チェックポイント阻害薬(抗PD-1抗体)による1型糖尿病の発症の経験について会場で尋ねたところ、10数人の挙手があり他人事ではないと実感しました。



名古屋ではひつまぶし、味噌カツ、台湾ラーメン、手羽あげとたくさんのお酒をのみ、モーニングランではマラソンランナーの高橋尚子さんとハイタッチをして、当法人の業務執行理事である植木彬夫先生と名古屋城の前で金シャチのポーズをして写真を撮ってきました。本当に学会を満喫してきました。

名古屋ではひつまぶし、味噌カツ、台湾ラーメン、手羽あげとたくさんのお酒をのみ、モーニングランではマラソンランナーの高橋尚子さんとハイタッチをして、当法人の業務執行理事である植木彬夫先生と名古屋城の前で金シャチのポーズをして写真を撮ってきました。本当に学会を満喫してきました。



今回の学会では初めての口演を体験し、緊張の面持ちでの参加となりました。「糖尿病教育入院講義に向けたロールプレイの学習効果と課題」というテーマで、教育入院の講義ができる看護師育成の実践について発表しました。本学会は、医師だけでなく薬剤師や看護師をはじめとする多職種が参加していますが、沢山の方に関心を寄せて頂きました。

自身の発表を終えてからは、ようやくリラックスして参加でき、時間のある限り沢山の発表を拝聴しました。その中で、シンポジウム13「合併症を有する糖尿病患者への支援～様々な領域の認定看護師からの視点」について報告します。テーマの通り、糖尿病患者さんを取りまく環境にいる様々な立場、糖尿病看護、脳卒中リハビリテーション看護、認知症看護、透析看護、皮膚排泄看護、訪問看護の認定看護師がそれぞれの専門性を活かした取り組みの現状、活動の中で問題と感じていることや多職種、地域との連携の実際について語りました。例えば、認知症看護認定看護師の発表では、院内の認定看護師会との連携により、認知機能が低下しても“その人らしさ”を大切にしたい支援を行うために、多職種や家族、地域でサポートしていく取り組みはぜひ参考にしたと思いました。また、皮膚排泄看護認定看護師の発表では、糖尿病患者さんの足病変を減らすことを使命として、足病変の怖さとフットケアの大切さを伝えるため、一緒に活動してくれる仲間を集めて、知識と技術の教育を行い、患者指導ができる看護師の育成に取り組んでいました。全体を通して、いま自分にできること、連携によりできることは何かを改めて考えていく機会となりました。日々の業務で忙しい毎日ではありますが、糖尿病患者さんを支援するという同じ目標のために頑張っている人たちの存在はとても励みになり、有意義な時間でした。

【本法人会員】

武蔵野赤十字病院

レポート2

志賀 和美 [看護師]

3日目の午後、最後のシンポジウムにおいて『糖尿病治療薬の新たな展望』というテーマで著明な先生方からお話が聞けました。

順天堂大学河盛隆造先生の「インスリン療法をどう改善すべきか?」のテーマでは、インスリン治療を行っている糖尿病患者においてHbA1cを7.0%以下でコントロールできている割合は20%程度しかなく、現状ではインスリンが『最後の切り札』として使用されています。2型糖尿病でもインスリンを早期に導入することによって、インスリン分泌能の改善、介入後のインスリン脱離の可能性が高まるため改善が必要であると言われていました。将来的にはより生理的な作用に近づけるため、皮下注射でのインスリン投与から肝臓に直接作用するような投与方法(内服のインスリンなど)も開発予定とのことです。

川崎医科大学加来浩平先生の「SGLT-2阻害薬は糖尿病治療を変えるか?」の講演では、SGLT-2阻害薬は発売当初から言われていた副作用(脱水、陰部感染、筋力低下など)以外の報告はほとんどなく、患者にきちんと指導することによって比較的高齢者においても安全に使用できる薬であるとのことでした。SGLT-2阻害薬には血糖降下作用以外にも腎機能の改善や心筋への影響、脂質代謝の改善などの様々な効果が認められつつありますが、その効果には個人差があるため、詳細な作用機序の解明が期待されています。SGLT-2阻害薬の作用については他のシンポジウムでも取り上げられており、参加者の多くが興味を持っているテーマだと感じました。今後も使用量は増加すると思われるため、患者への指導を通して適正使用に貢献していきたいと思いました。

【本法人会員】

青梅市立総合病院

指田 麻未【薬剤師】

レポート 3

事務局からのお知らせ



事務局へのお問い合わせは当法人ホームページで常時受け付けております。ご返信にはお時間をいただく場合がございますが、順次対応させていただきます。お急ぎの方は平日の10:00~12:00 / 13:00~16:00にお電話くださいようお願いいたします。

お悩み解決 《会員マイページ Q&A》

Q. 年会費や研修会参加費の領収書は出してもらえますか？

A. どちらも会員マイページより発行できますので、印刷してお使いください。

＜年会費の領収書＞会員マイページの「年会費入金状況確認」より発行できます。

＜研修会参加費の領収書＞会員マイページの「その他の入金履歴」より発行できます。



年会費入金状況確認

年会費の入金状況をご確認いただくことが出来ます。

山田 太郎様の只今の入金状況

入金状況	入金済み 領収書
会費の有効期間	2017/04/17~2017/12/31

← ここから発行

入金履歴

これまでの入金履歴をご確認いただくことが出来ます。

入金内容	【看護系】第14回西東京病院南教育看護研修会 (平成29年度 西東京病院南療養指導プログラム)
金額	5,000円 領収書
決済方法	コンビニ
入金日	2017年05月15日 19時52分

← ここから発行

※発行できる領収書のお名前は「登録会員名」となります。また、お勤めの病院名での領収書発行をご希望の方は、会員マイページからは発行できません。事務局までその旨、お申し出ください。

読んで
単位を
獲得しよう

答え 4 下記の解説をよく読みましょう。

(問題は1ページにあります。)

解説

1. 高血糖による好中球機能不全で歯周病菌が増殖し、さらにコラーゲン合成阻害、歯根膜線維芽細胞機能異常、微小循環障害、AGEs増加、アディポサイトカインの関与などで歯周炎が拡大する。
2. 糖尿病自律神経障害により唾液分泌量が減少し、歯の自浄性が低下する。
3. 歯周病菌が歯肉から血管内に入り、菌が産生する内毒素や歯周病巣で産生された炎症性物質(サイトカイン)が原因となり血管壁に炎症を起こし、動脈硬化を進行させる。
4. 抗菌薬の投与は非糖尿病と同様に適応を考え、むやみな抗菌薬投与は慎む。
5. 歯周治療によりインスリン抵抗性を惹起するTNF- α が減少することが報告され、2型糖尿病患者を対象としたメタアナリシスでは歯周治療でHbA1cが0.4~0.66%低下すると示されている。

研究会等のセミナー・イベント情報

☒ 直接事業
 ☒ 間接事業
 ☐ その他

◆ 第41回糖尿病連絡会

申込必要

テーマ：『糖尿病とガン』

開催日：平成29年7月20日（木）19:30～21:00

場所：公立昭和病院 2階 講堂（小平市花小金井8丁目1-1）

申込：TEL:0422-39-7971（7/7締切） 参加費：500円

☆日本医師会生涯教育制度：1.5単位申請中（カリキュラムコード12.76.0）

◆ 第30回武蔵野糖尿病医療連携の会 学術講演会

申込不要

テーマ：『糖尿病合併症』

開催日：平成29年7月22日（土）17:00～19:00

場所：ホテル日航立川東京 3階「アトランティックⅡ」（JR中央線「立川駅」南口下車 徒歩7分）

参加費：医師 1,000円 / 医師以外 500円

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位＜第2群＞：0.5単位申請中

☆日本医師会生涯教育制度：1.5単位申請中（カリキュラムコード9.12.76）

詳細資料の
同封あり

◆ 第9回東京臨床糖尿病運動療法研究会

申込必要

テーマ：『～運動療法の基礎研究から実臨床まで～』

開催日：平成29年8月1日（火）19:00～21:00

場所：女性総合センター 1階 アイムホール（JR中央線「立川駅」北口下車 徒歩7分） 参加費：無料

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位＜第2群＞：0.5単位申請中

◆ 一般社団法人 臨床糖尿病支援ネットワーク 倫理研修会

申込必要

テーマ：『これから臨床研究を発表したいアナタがすべきこと』

開催日：平成29年8月26日（土）16:00～17:00

場所：国分寺労政会館 4階（JR中央線「国分寺駅」南口下車 徒歩5分） 参加費：無料

申込：当法人ホームページのイベント情報にある「申込みフォーム」よりお申込みください。（8/20締切）

詳細資料の
同封あり

◆ 一般社団法人 臨床糖尿病支援ネットワーク 糖尿病災害対策委員会

申込必要

テーマ：『サバイバルマニュアル第2版のご紹介～災害時の食事であわてない、非常食の使い方を知ろう～』

開催日：平成29年9月3日（日）14:20～16:00

場所：武蔵野スイングホール 11階（JR中央線「武蔵境駅」北口下車 徒歩2分）

申込：FAX:042-322-7478（8/27締切） 参加費：無料

詳細資料の
同封あり

◆ 第11回西東京糖尿病運動指導スキルアップセミナー

申込必要

テーマ：『高齢者のための運動療法』

開催日：平成29年9月10日（日）8:30～17:00

場所：専門学校 社会医学技術学院（JR中央線「東小金井駅」下車 徒歩3分）

参加費：当法人会員 5,000円 / 一般 7,000円

申込：当法人ホームページのイベント情報にある「申込みフォーム」よりお申込みください。（9/3締切）

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：10単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位＜第2群＞：2単位申請中

☆健康運動療法士及び健康運動実践指導者の登録更新に必要な必修単位＜講義/実習＞：計6.5単位申請中

詳細資料の
同封あり

発行元

一般社団法人 臨床糖尿病支援ネットワーク事務局
〒185-0012
国分寺市本町2-23-5 ラフィネ込山No.3-802
TEL:042(322)7468 FAX:042(322)7478
https://www.cad-net.jp/
Email:w_tokyo_dm_net@crest.ocn.ne.jp

編集後記



5月18日～20日に、名古屋で第60回日本糖尿病学会学術集会が開催されました。今年も早朝7時より“Morning RUN & WALK”があり、初めて参加しました。名古屋城の周囲3.5kmのコースです。マラソンの高橋尚子選手による準備運動から始まり、コース途中でのハイタッチやゴールでのお出迎え、そして最後に一緒に記念撮影。Qチャンの笑顔にたくさんの元気をもらいました。（広報委員 小林 庸子）